



日府展洋画部からのお知らせ

洋画部長 塚田 稔

第 66 回日府展は、日本画府の新体制になって初めての展覧会になりましたが、洋画部を中心とするメンバーの献身的な協力で大成功のうちに終了しました。ジュニア展示も大変好評でした。ギャラリー・トークも来場者から洋画部はすごいねと高い評価を受けました。

表彰式・祝賀会は、初めて都美術館内のラ・ミュージズでの開催となりましたが、吉田馨都江さんの心配り、高橋ゆみ子さんの名司会、Luuka さんの熱唱もあって、参加者の一体感が生まれました。9 月には秋季洋画部展があります。今年も優れた秋季展をめざして、皆様のご努力をお願いします。



第 66 回日府展 東京展は 6,040 名の入場者を得て盛会裡に終了しました。

第 66 回東京展は、文化庁・東京都・群馬県・栃木県・長野県・練馬区・東京新聞の後援を受けて、5 月 19 日～27 日（20 日休館）の 8 日間にわたり開催されました。期間中の入場者は、悪天候や猛暑もあり、昨年より 1,000 名減の 6,040 名でした。

東京展の初日午後、ギャラリー・トークを開催しました

初日 19 日（日）午後 2 時 00 分より、洋画部アドバイザー・篠原一成氏（評論家、全日本美術新聞）を講師として、ギャラリー・トークが開催されました。会場いっぱいになるほどの参加者がありました。作家自身が展示作品への思いを述べたあと、講師および審査員による講評があり、一般入場者や他の部の出品者からも好評でした。いただいたコメントは、参考意見として作家活動に役立てて下さい。



市民講座「脳科学と材料科学から絵画を読み解く」を開催しました

会期中の 26 日（日）午前 10 時より東京都美術館講堂において、市民講座「脳科学と材料科学から絵画を読み解く～ゴッホのひまわりの色」が開催されました。講師は、洋画部の塚田稔・佐藤勝昭の 2 人。塚田は脳科学者の立場からゴッホの色はゴッホの心の色であることを、佐藤は材料科学者の立場から、ひまわりに使われたクロムイエローは 6 価のクロムを含むクロム酸鉛であること、表面のクロムが 3 価に変わること、かなり変色していること、最先端の科学で元の姿にデジタル復元できることなどを話しました。約 100 名の聴講者がありました。



洋画部会・洋画部懇親会が開催されました

5 月 26 日（日）の市民講座終了後引き続き講堂にて、服部総務の司会で洋画部総会が開催されました。出席者：塚田 小室 佐藤 石井 和知 服部 大野 山本 橋口 高橋 小川 浦野 飯島 村岡 増田の 15 名。議題 1 では、66 回展からの改善点について自由討論、議題 2 では 2019 年度内の洋画部行動計画（秋季洋画部展、スケッチ旅行、忘年会又は新年会、洋画部研究会）の説明と質疑、議題 3 では 2018 年度会計報告および監査報告、2019 年度の予算案が提案され承認されました。

◆夕刻、洋画部員及び日府展出品者皆様の親睦を深め、今後の制作活動への活力としていただくため、「かよい路」上野店で洋画部懇親会が開催されました。受賞者・推挙者のほか、参加者全員が挨拶をしました。



会計報告

2018年度洋画部会計報告			
収入		支出	
前年度繰越金	336,753	展覧会及び活動補助金	167,712
年会費(52x10,000)	520,000	通信費	30,074
本部補助	35,500	慶弔費	10,000
		祝金・謝礼	53,240
		事務費	30,056
		美術誌掲載料	180,000
		次年度繰越金	421,171
合計	892,253		892,253

予算

2019年度洋画部予算			
収入		支出	
前年度繰越金	421,171	展覧会及び活動補助金	200,000
年会費(53x10,000)	530,000	通信費	40,000
本部補助	63,000	慶弔費	30,000
本部展覧会補助	10,000	美術誌掲載料	180,000
寄付金等雑収入	20,000	祝金・謝礼	30,000
		事務費	30,000
		雑費	5,000
		名古屋展旅費補助	180,000
		次年度繰越金	349,171
合計	1,044,171		1,044,171

受賞、推挙された方、おめでとうございます。

66回展では、洋画部においては次の方々を受賞、推挙されました。

洋画部受賞者			
日府賞	吉田馨都江	全日本美術新聞賞	高橋ゆみ子
努力賞	佐々木裕子、飯島百合子	クサカベ賞	越後早希子
奨励賞	大井田敏江、鮫島俊英、潮 和子	加藤文明社賞	高坂 昇
新人賞	江幡 肇、根石さと子、立石里美子	中日賞	吉田侑記子
長野県知事賞	松林節男	東海テレビ賞	小川 明
東京新聞賞	橋口美子		
洋画部推挙者（辞退者を除く）			
参事推挙	染谷かほる、浦野義頼	会員推挙	正路ユキ、西川勝正
委員推挙	村岡靖彦、大坂元久	準会員推挙	潮 和子、根石さと子

これからの予定

秋季洋画部展は9月2日～8日 ギャラリーくぼた

会場：ギャラリーくぼた 2F、3F (104-0031 東京都中央区京橋 2-7-11)
 会期：9月2日(月)～9月8日(日)
 時間：11時～18時30分 (最終日は15時終了)
 搬入：9月1日(日) 17時 搬入後飾り付け
 (宅配便利用の場合 16-18時の着指定でギャラリーくぼた日府展秋季洋画部展 明記)
 搬出：9月8日(日) 15時
 オープニングパーティ：9月2日 16時～ 会場にて
 世話人：大野雅生ほか

洋画部スケッチ旅行は10月14日(月・祝)～16日(水) 乗鞍

ホテル：乗鞍高原ユースホテル
 世話人：飯島百合子

洋画部研究会は2020(令和2)年2月9日(日)

日府会館
 世話人：斉藤正博

